



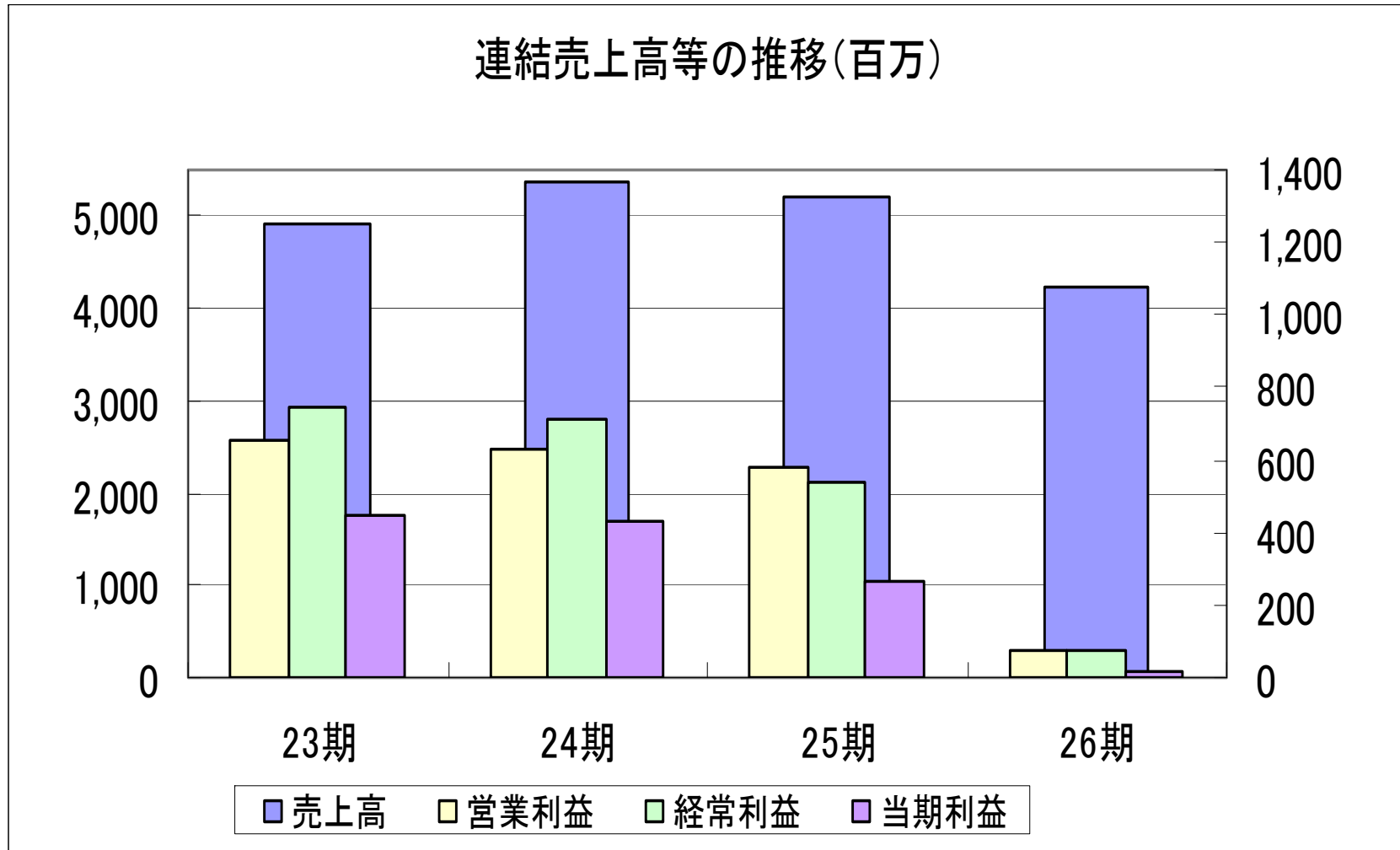
# 第26期(09/3月期)連結 経営近況報告会

株式会社 テイン

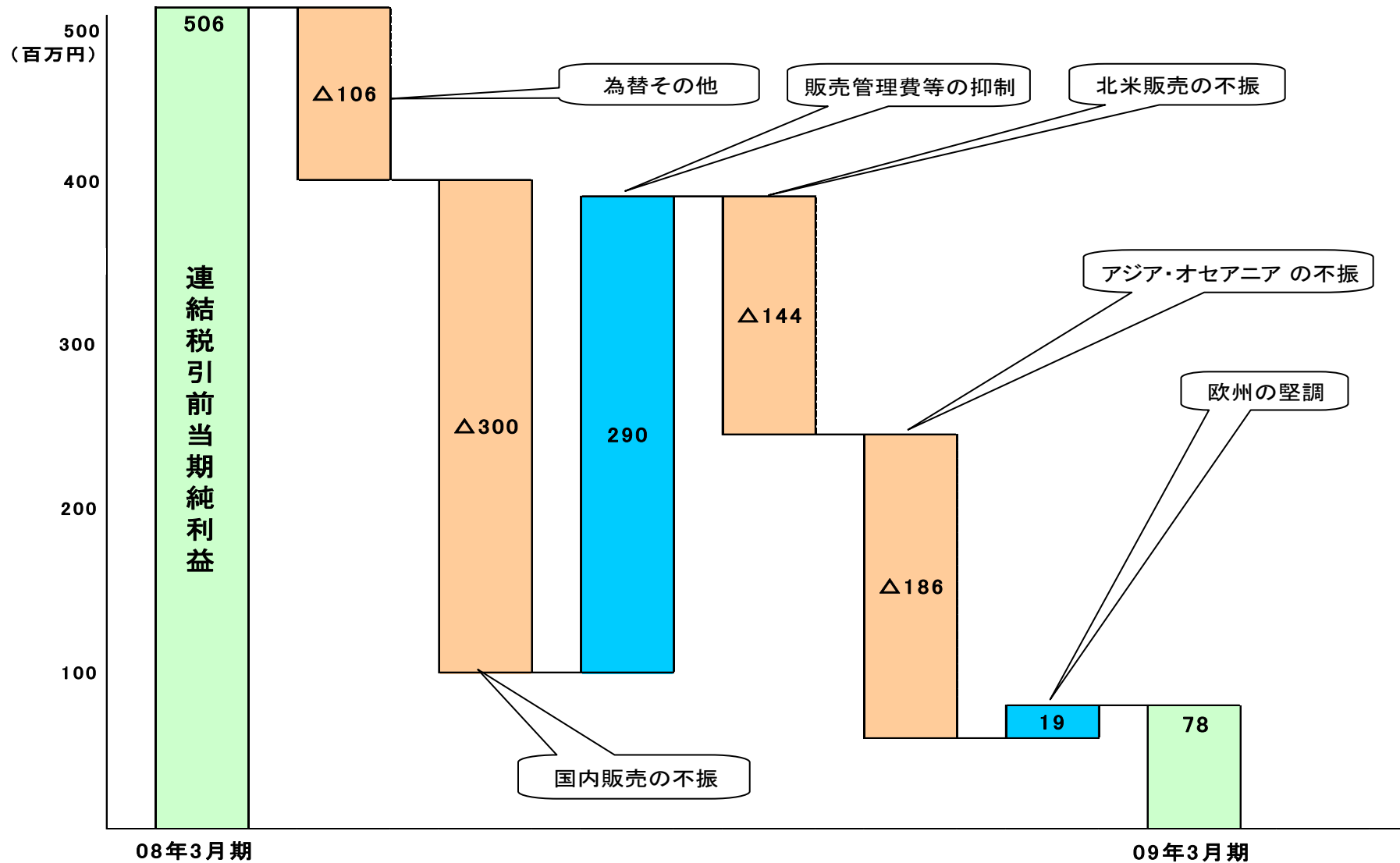
2009年 6月17日

<http://www.tein.co.jp/>

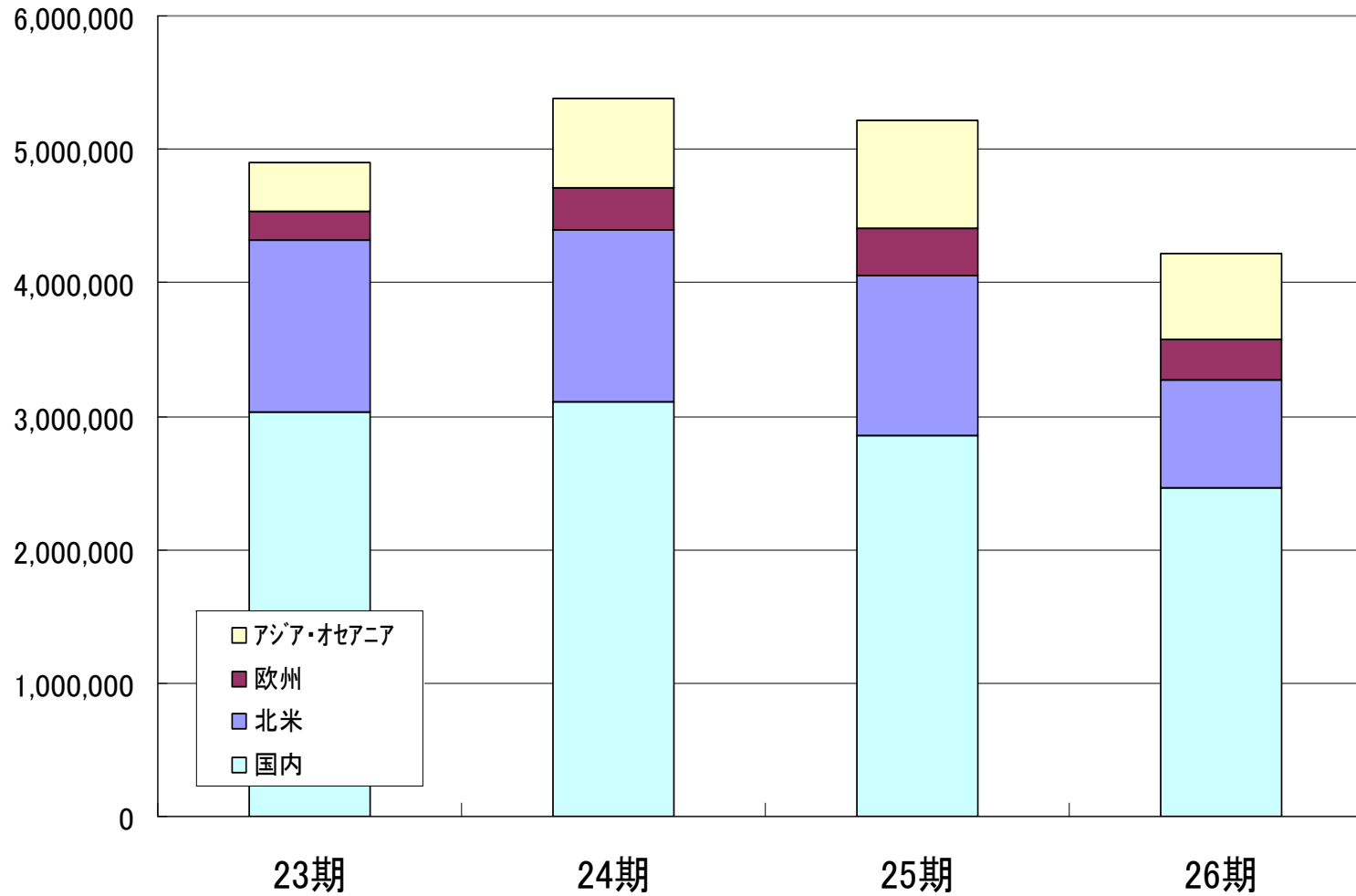
# 連結業績の推移



# 税引前当期純利益変動要因

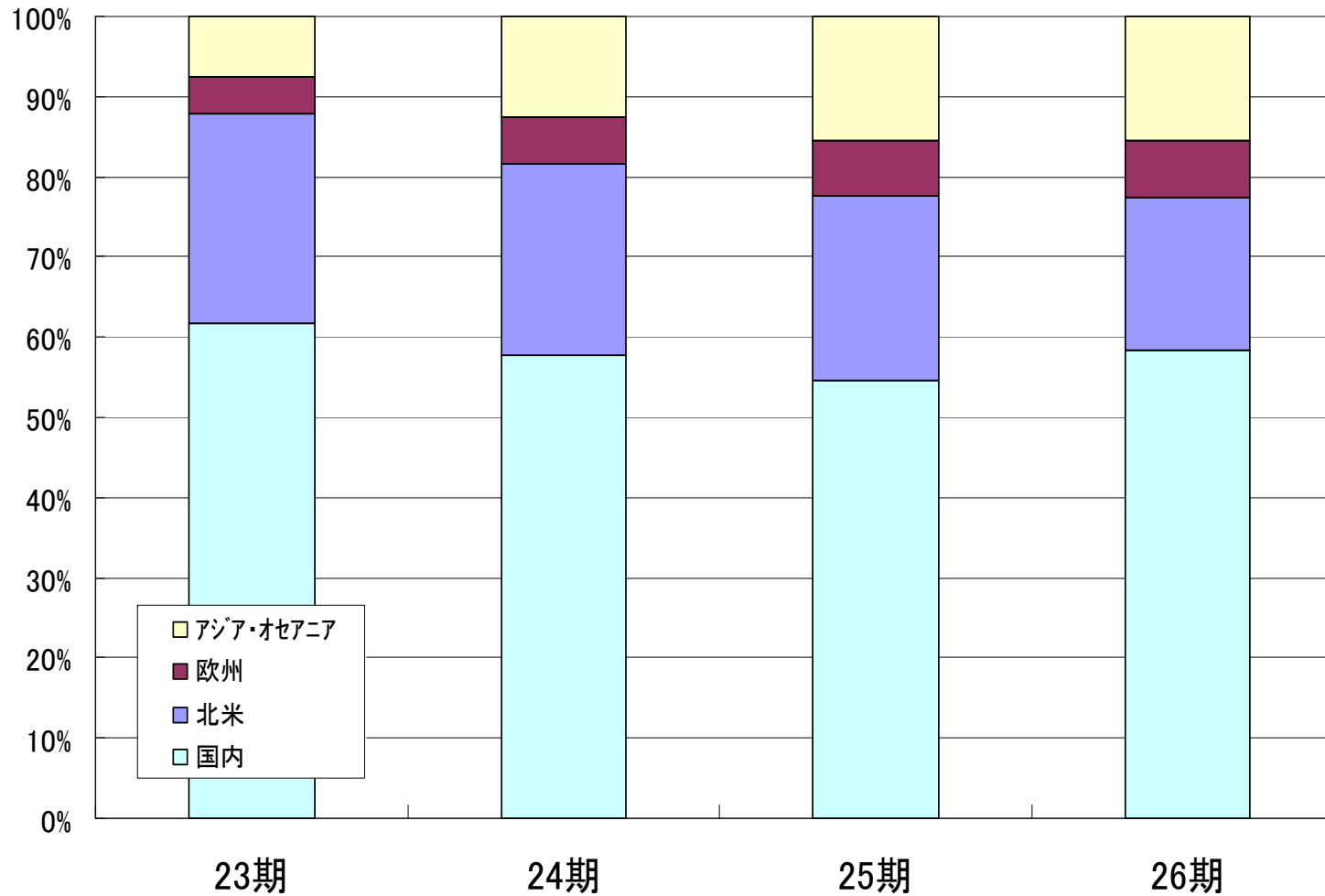


# 地域別売上高(連結)



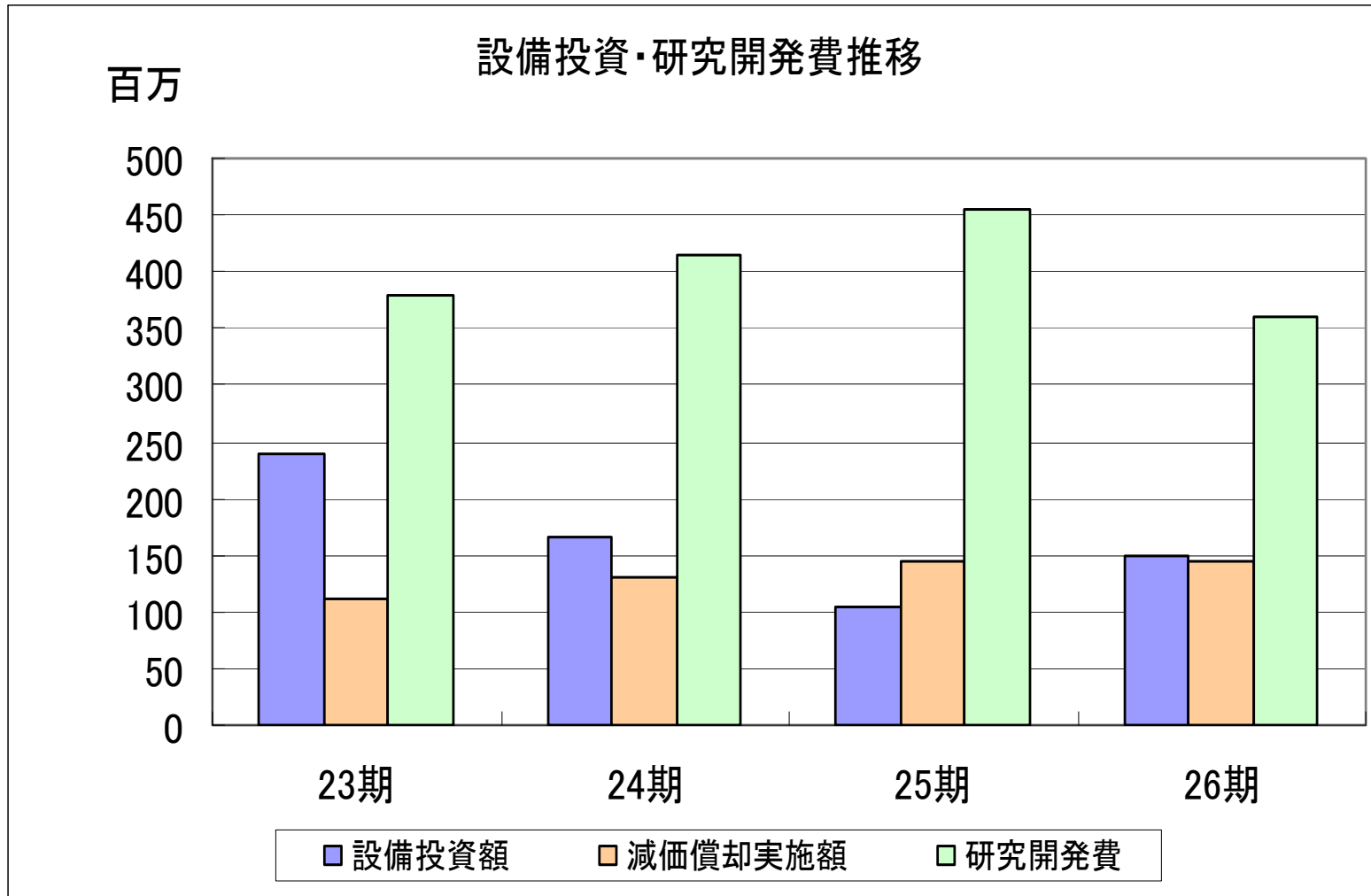
本資料における将来情報は2009年6月現在の見通しであり、今後修正される可能性があります。

# 地域別売上比率(連結)



本資料における将来情報は2009年6月現在の見通しであり、今後修正される可能性があります。

# 研究開発費・設備投資



# 中長期的な経営計画

## 1. 販売力

日々の営業活動から得られる情報を活用し、攻めの営業を追求することで、国内外ともに販売戦略を強化し、**販売シェアを拡大**してまいります。

## 2. 研究開発力

カーアフターマーケットでのトップ企業として相応しい開発スピードにより、高品質かつリーズナブルな製品を開発し、**新たな市場を創造**してまいります。

## 3. コスト削減力

**グローバルな部材調達を展開**し、生産体制を見直し、全ての経営資源を有効活用し、またスピードを身につけた強靱な企業体質の構築によりコストを削減してまいります。

## 4. 品質力

常にお客様に軸足を向けて市場要求品質に適合させ、**世界基準の品質を確立**し、お客様満足度100%を目指してまいります。

## 5. 総合力

グループとしての総合力の強化を図り、より**強固な経営基盤の構築**を推進してまいります。

# 対処すべき課題

- ① 高付加価値製品の開発と  
ラインアップの多様化
- ② 海外市場の拡大
- ③ コスト削減の推進
- ④ 品質の向上

## 対処すべき課題①

# 戦略1 高付加価値製品の開発と ラインアップの多様化

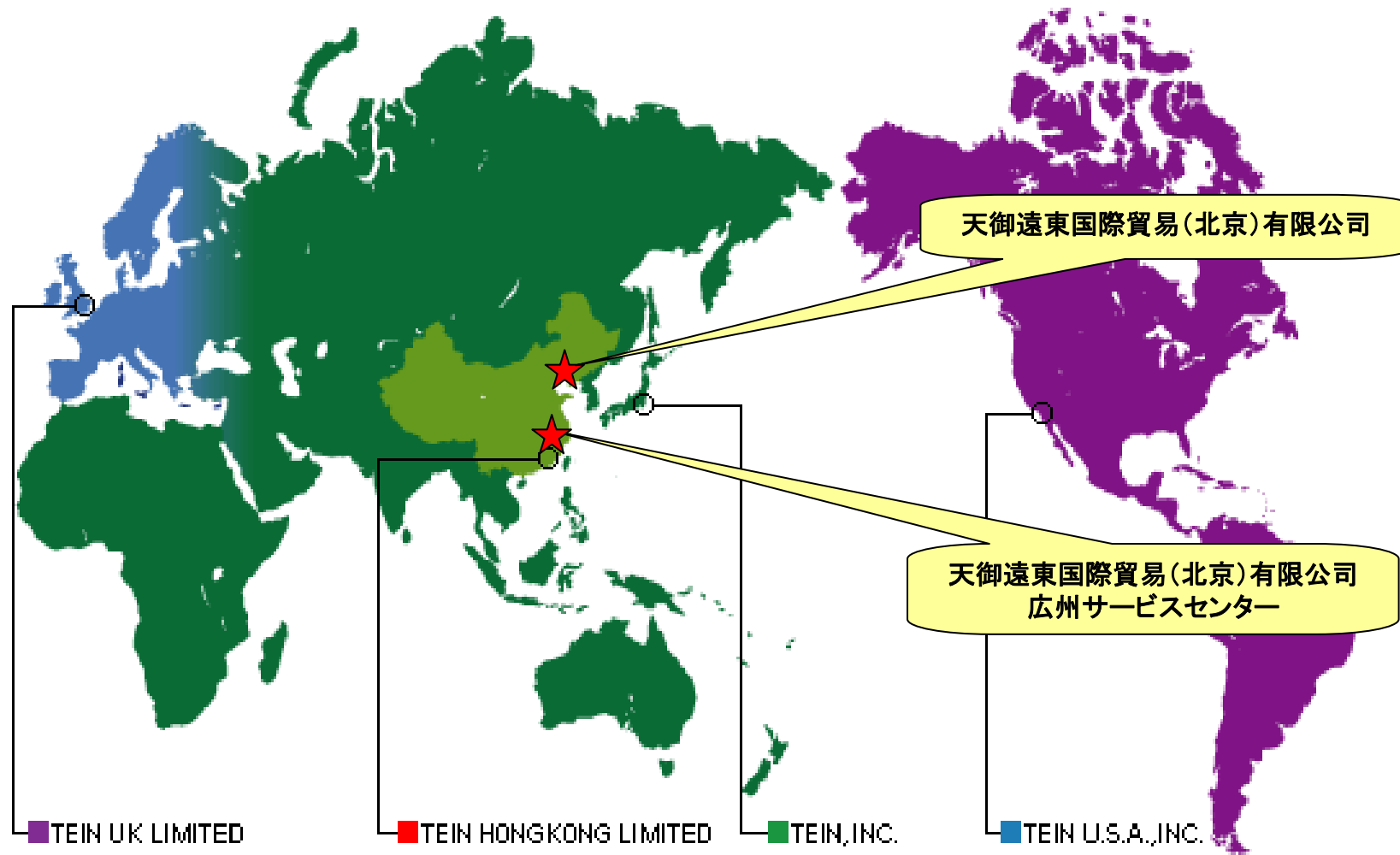
最先端のモータースポーツフィールドからフィードバックした高付加価値の製品の開発と市販化と合わせ、世界各国の様々なユーザーニーズに対応するラインアップの多様化。

## 対処すべき課題③

### 戦略3 コスト削減の推進

**生産効率および稼働率の一層の向上と  
変化する需要に対応するフレキシビリティ  
を追求した生産体制の整備**

# 【グローバルネットワーク】



# 業績の見通し



(単位: 百万円)

## 連結

	09/3実績	10/3計画
売上高	4,222	3,539
国内	2,463	/
北米	807	
アジア・オセアニア	652	
欧州	300	
営業利益	73	31
経常利益	77	25
当期純利益	20	10
設備投資額	150	100
減価償却費	145	125
研究開発費	361	338
為替レート(1US\$)	100.58円(平均)	95.00円(期末)
為替レート(1£)	174.16円(平均)	146.00円(期末)
従業員数(期末)	179名	-
臨時従業員(年間平均)	90名	-

(単位: 百万円)

## 単体

	09/3実績	10/3計画
売上高	3,881	3,341
営業利益	90	0
経常利益	95	△ 4
当期純利益	57	△ 2

# 【おことわり】

本資料に記載されている業績予想、ならびに将来情報等につきましては、2009年6月現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断した予想であり、今後修正される可能性、ならびに潜在的なリスクや不確実性が含まれておりますので、確実性を保証するものではありません。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績が記載されている予想・見通しとは異なる場合がありますことをご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

なお、実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レート、競争状況などが考えられます。

投資に関する決定については、  
ご自身のご判断でおこなわれますよう、  
お願いいたします。

お問い合わせ先：  
株式会社ティン 管理課  
TEL 045(810)5511